

講義科目名称： 家族関係特論

授業コード： 6620000800

英文科目名称： Theories of Family Relationships

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	1単位	選択
担当教員			
◎加藤 哲文			
添付ファイル			

授業種類	<b>【開講】</b> 後期 <b>【授業時間】</b> 15時間 <b>【担当教員】</b> <b>【氏名】</b> ◎加藤 哲文 <b>【所属】</b> 上越教育大学 大学院学校教育研究科 <b>【本学の科目区分】</b> 共通基盤分野
------	--

到達目標	看護学における「家族関係」の問題は、看護の業務に携わる者にとって、患者やその家族を支えるための重要な要因である。本講義では、家族関係を理解するために、主として、家族心理学や臨床心理学の概念や理論を取り上げ、患者を含む家族への援助の技術や技法を学ぶことを目的とする。また、看護業務で想定される、家族関係に関わる問題に対する援助技術として面接法を取り上げながら、問題解決能力を習得することを目標とする。
------	---

授業概要	家族関係に関する家族心理学や臨床心理学からの概念や理論を体系的に解説し、それぞれの特徴や、看護に関わる業務に適用する際の問題点などについて議論する。さらに、具体的な援助技術として面接技法を取り上げ、演習形態で実施する。
------	---

授業計画	1 12/14(土) 授業内容 授業形態：講義 学習課題：家族心理学からみた「家族関係」の概念と理論 学習内容：家族心理学における代表的なモデルと理論を理解する 備考：加藤 2 12/14(土) 授業内容 授業形態：講義 学習課題：家族アセスメント 学習内容：家族関係の機能の状態をアセスメントするための理論と方法を理解する 備考：加藤 3 12/14(土) 授業内容 授業形態：講義 演習 学習課題：家族療法 学習内容：家族の機能に着目して、患者（クライアント）にかかる問題を解決するための心理療法の理論と実際を理解する 備考：加藤 4-7 12/14, 21 授業内容 授業形態：講義 演習 学習課題：家族関係に関する事例を用いた演習 援助技術としての「面接法」による演習 学習内容：患者と家族に関わる事例を通して、問題のアセスメントや、支援目標、支援内容について理解する 代表的な援助技術としての「面接法」に関する演習（模擬的な面接場面を設定し、ロールプレイによる演習を行う）の理論と技術を習得する 備考：加藤 8 12/21(土) 授業内容 授業形態：演習 学習課題：まとめ 学習内容：本講義から得られたポイントについて、総合的なまとめを行う 備考：加藤
------	--

事前・事後学習	適宜、指示する。
---------	----------

評価方法、評価基準	授業時の討議や演習への積極的な参加の程度50%、最終回に提出するレポートの結果50%から評価する。
-----------	---

テキスト	特に指定はしない。
参考図書・資料等	授業時に資料を配布する。また、参考書は適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	特になし。
教員からのメッセージ	集中講義で行うが、日程は後日に連絡する。また、討議や演習などでは積極的に発言してほしい。
オフィスアワー	メールで事前に連絡をとること。